



平成27年度市職員改善提案件数 700件超えて過去最高

27年度の職員提案は、市民満足度の向上、費用対効果の向上、歳入の増加、経費の縮減、負担の減少、事務時間の短縮、職場環境の向上、メンタルヘルスの維持・向上などをテーマに行われました。その結果、702件の提案が出され、過去最高となりました。職員1人あたりの提案率(提案数÷人数)の高かった上位3部署は、1位 防災課(733%)、2位 区画整理課(487%)、3位 議事課(460%)でした。

市における職員提案制度は昭和36年から実施しています。私が市長になつて以降、一貫して市役所と市職員の目的は「CS(市民満足度)とCP(コストパフォーマンス)費用対効果」の最大化であるとして、日常的な改善・改革を促してきました。その結果の1つであると思います。

すが、職員提案件数は大変多くなつてきています。

過去15年間の提案件数は、平成12年度41件、13年度62件、14年度61件、15年度16件、16年度47件、17年度48件、18年度81件、19年度418件、20年度190件、21年度212件、22年度448件、23年度577件、24年度565件、25年度613件、26年度562件でした。

また、27年度にすでに実施済みで金賞、銀賞、銅賞と評価された25件の提案の自己算定による経費削減効果額合計は約410万円でした。25年度における実施済受賞提案30件の経費削減効果額合計は約6千500万円、26年度は23件で約2千100万円でした。この3年間で約9千万円削減したことになります。これは毎年の経常的経費の削減になり、小さな改善のようではあります。長い間には数十億円の違いが出てきます。この職員提案制度は単に経費を削減したり、収入を増やすことだけを目的としている訳ではなく、同時に市民満足度や職場環境の改善も対象にしていますので、そういった意味からも効果は大きいと思います。多くの職員が日々改善意識を持って仕事をしているか、そうではないか、年を重ねるに従って、大きな違いが出てきます。市は、この面においても「世界に誇る碧南市」を目指しています。

今後とも、職員一同、誠心誠意、継続して改善に努めてまいります。

軽自動車などの 廃車・変更手続きは お早めに

軽自動車や自動二輪車、原動機付自転車などを廃車、名義変更したときは、速やかに手続きをしてください。手続きをしないと、4月1日現在の所有者に1年分の軽自動車税が課税されます。

年度末は大変混雑しますので、できる限り3月中旬までに手続きをしてください。

次に該当する人は、忘れずに手続きをしてください。

- ①軽自動車などを現在使用していないが、廃車の手続きをしていない人
- ②ほかの人に軽自動車などを譲渡したが、名義変更をしていない人
- ③転入・転出したが、軽自動車などの住所変更をしていない人
- ④軽自動車などの所有者が死亡したが、廃車や名義変更の手続きをしていない人

問合せ 税務課管理係

車種	原動機付自転車 二輪(125ccまで) 小型特殊自動車	軽自動車 (三輪・四輪)	二輪 (125ccを超えるもの～ 250cc)	二輪 (250ccを超えるもの)
	碧南市ナンバー	三河ナンバー		
届出先	市役所税務課管理係	軽自動車検査協会・愛知主 管事務所三河支所(豊田市) ☎050(3816)1772	(一社)全国軽自動車協会 連合会愛知事務所三河支所 (豊田市) ☎0565(52)3111	愛知運輸支局西三河自動車 検査登録事務所(豊田市) ☎050(5540)2047
必要なもの	<廃車の場合> ナンバープレート、印鑑 <住所・名義変更の場合> ナンバープレート(市外 への変更など)、印鑑、 譲渡証明(名義変更など)			

廃車や住所・名義変更などの手続きに必要な書類などは、届出先や届出内容によって異なる場合があります。詳しくは各届出先にお問い合わせください。軽自動車検査協会ホームページ(<http://www.keikenkyo.or.jp>)からも見ることができます。